

— 蚊の退治は幼虫から —

蚊



名古屋市

夏の夜‘プーン’と耳障りな音で安眠を妨げられたり、散歩中に蚊に刺されたりして不快に思われた方は多いと思います。また、蚊は、いろいろな感染症を媒介するやっかいな害虫といえます。蚊を発生させない、蚊に刺されないよう心がけましょう。

蚊の主な種類

蚊にはたくさんの種類がありますが、身近にいる主なものはアカイエカとヒトスジシマカです。



アカイエカ

大きさ：約5.5mm

特徴：成虫は、全体が灰褐色です。
吸血は夜間が中心で、屋内にもよく侵入します。



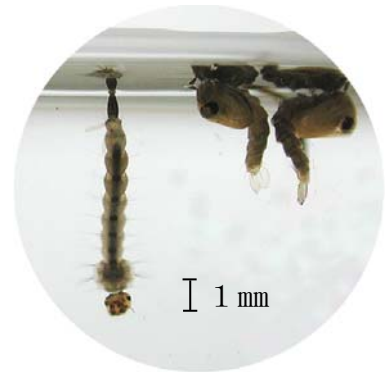
ヒトスジシマカ

大きさ：約4～5mm

特徴：成虫は、全体が黒色で背中の中央に一本の縦すじがあり、脚の関節部に白色の帯があります。通称ヤブカと言われているものの代表です。吸血は昼間（特に朝夕）が中心です。

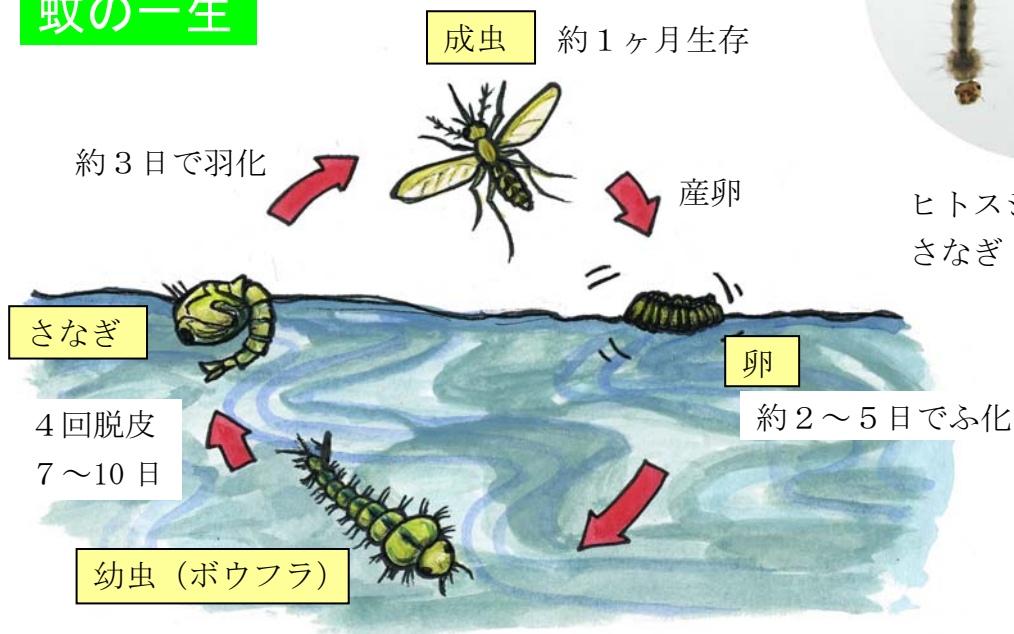
冬でも蚊の被害！（チカイエカ）

冬に蚊に刺されたことはありませんか。これは、マンション等の排水槽や湧水槽などで発生するチカイエカです。形態的にはアカイエカと大変よく似ています。



ヒトスジシマカの幼虫（左）
さなぎ（右）

蚊の一生



蚊の発生場所

蚊を防ぐには、蚊の幼虫（ボウフラ）を発生させないことが一番効果的です。通常、幼虫は水面に浮いていますが、刺激などを受けるとくねくねと動きます。

一般的に、アカイエカの幼虫は側溝や排水ます、一方、ヒトスジシマカの幼虫は空き缶、空きびん、ブロック穴などちょっとした水溜りで発生します。

私たちの家の回りに、蚊の幼虫が発生していないか点検しましょう。

また、池や水槽に魚を飼うことで蚊の幼虫の発生を防ぐことができます。



ブロック穴



空き缶



植木鉢の受け皿



シートの水溜り



雨ざらしの容器など



排水ます

蚊に刺されないために

● 蚊の侵入を防止する

- ・ 玄関等からの出入りは素早く行いましょう。
- ・ 網戸のない窓等は開け放しをしないようにしましょう。
- ・ 網戸は破れていないか、窓枠の隙間はないか点検しましょう。

● 外出する際には

- ・ 蚊の多いところに出かけるときは肌の露出の少ない服装にしましょう。
- ・ 市販の虫よけ剤や蚊取り線香を使用する方法もあります。



虫よけ剤

いろいろな虫よけ剤が市販されていますが、多くはディートという物質が含まれています。一般的に毒性は少ないとされていますが、使用上の注意を必ず守りましょう。

蚊が媒介する感染症

—蚊に刺されないようにしましょう—

● デング熱

デングウイルスを保有するネッタイシマカやヒトスジシマカなどが媒介します。熱帯・亜熱帯地方の広い地域で多くの患者が発生していますが、2014年東京都の代々木公園などで70年ぶりに国内感染の患者が発生し、今後も国内で流行することが懸念されています。

● チクングニア熱

チクングニアウイルスを保有するネッタイシマカやヒトスジシマカなどが媒介します。アジア・アフリカ・ヨーロッパ・アメリカ大陸の約60カ国で患者が発生しています。

● ジカウイルス感染症

ジカウイルスを保有するネッタイシマカやヒトスジシマカなどが媒介します。近年、中南米及びその周辺地域で流行しています。

● 日本脳炎

日本脳炎ウイルスを保有するコガタアカイエカが媒介します。近年、日本での患者発生はほとんどなくなってきました。しかし、東南アジアでは多くの患者が発生しています。

● マラリア

マラリア原虫を保有するハマダラカが媒介します。熱帯・亜熱帯地方の広い地域で多くの患者が発生して、蚊が媒介する感染症で最大のものといえます。

● ウエストナイル熱

ウエストナイルウイルスを保有するイエカやヤブカなどが媒介します。アフリカ・ヨーロッパなど広い地域で発生しています。



衛生害虫の相談は、保健センターへ

- | | |
|--|------------|
| ○千種保健センター 環境薬務室
(担当区：千種区、昭和区、瑞穂区、名東区) | ☎ 753-1973 |
| ○中村保健センター 環境薬務室
(担当区：西区、中村区、熱田区、中川区) | ☎ 481-2217 |
| ○中保健センター 環境薬務室
(担当区：東区、北区、中区、守山区) | ☎ 265-2256 |
| ○南保健センター 環境薬務室
(担当区：港区、南区、緑区、天白区) | ☎ 614-2862 |

※上記以外の保健センターでも来所相談を実施しますが、現地調査などは上記4保健センターに引継ぎます。